

要 約

2-ビニルピリジンの48時間急性遊泳阻害試験をオオミジンコ (*Daphnia magna*)を用いて実施した。

試験は、1試験区20頭を用い、5濃度区[設定濃度：25.0、15.6、9.77、6.10及び3.81 mg/L(公比1.6)]及び対照区、水温20±1℃、試験液を交換しない止水式で行った。

その結果、試験液中の被験物質濃度は、暴露開始時では設定値に対して101～103%、終了時では58.1～70.7%であり、設定濃度の±20%を超えたため、以下の試験結果の算出には測定濃度の時間加重平均値を用いた。

24時間EC50(半数遊泳阻害濃度)は16.0 mg/L、48時間EC50は9.48 mg/Lであった。

48時間における100%遊泳阻害最低濃度は12.5 mg/Lであった。また、0%遊泳阻害最高濃度及びNOEC (最大無影響濃度)は共に3.23 mg/Lであった。